

さわやか俳句クラブ

一月の作品

取込みし シャツに冬陽の あたたかく きみえ

ろう梅の 香を運びくる 窓あける きみえ

日当たりの 蠟梅の香と 遊びける きみえ

足弱の 身をろう梅の 香にまかす きみえ

大寒や ふわっととろける チョコレート きみえ

冬眠の ような一日 過ぎてゆく きみえ

鳥影の うつりうつりて 枯林 きみえ

悴(かじ)かみて 順番待たさる 木いすかな きみえ